

葛飾区議会レポート

平成29年の年頭に寄せて

● 新年あけましておめでとうございます ●

◆旧年中はかわごえ誠一の活動へのご理解ご声援ありがとうございました。昨年で区議会議員として活動を始めてから3年が経ち、区議会の任期も今年11月までと、残すところ1年を切りました。今年も地域の課題解決に全力を注ぎ、さらに一人一人が自分らしく生きられる社会を目指し活動を進める所存です。今年もご声援よろしくお願ひします。

平成29年度子ども応援課・児童相談所設置担当課長創設へ

◆かねてから一般質問などで「困難を抱えた子どもや若者たち」を社会全体で支援するための施策を求めてきました。今回子ども若者育成支援法に基づき、子どもの貧困や若者の引きこもりなどに対し、部署を越えて総合的に取り組む窓口として「子ども応援課」が創設されることになりました。子ども食堂などへの支援も進めていく予定です。また児童相談所の移管に向けて「児童相談所設置担当課長」が創設され準備が進められます。

区議会民進党議員団、小池百合子都知事と会談

◆民進党東京17区の伊藤まさき総支部長の調整のもと、青木かつのり区長、区議会民進党議員団の米山真吾幹事長らとともに東京都庁に小池百合子都知事を訪問し、保育園の待機児童対策や、細街路の無電柱化などについて意見交換をしました。



葛飾区議会議員 かわごえ誠一

かわごえ誠一 プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ●東海大学第二工学部建設工学科卒●立石在住29年●一男二女の父親●保育園/学童保育クラブ父母会、小中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、三番瀬保全まちづくり活動などに携わる●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師●前都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年11月葛飾区議会議員選挙で初当選●所属：区議会保健福祉委員会副委員長/危機管理対策特別委員会

タウンミーティング

主催：
葛飾区議会民進党議員団

かわごえ誠一 テーマ別学習会のお知らせ

参加費無料

と き：平成29年 **1月31日** (火) 19:00～ 開場 18:45

会 場：**かつしかシンフォニーヒルズ** 別館5階 レインボー 葛飾区立石6-33-1
※会場の都合上、事前にご連絡いただくと幸いです。

一 部：19:00～ 区政・活動報告

二 部：19:30～ 学習会

テーマ：**希少難病を知っていますか？**
～となりの見えない苦しみ・ヘルプマークで助け合いを～

講 師：香取 久之さん

NPO 法人 希少難病ネットつながる (RDneT アールディネット) 理事長



講師 香取久之さん

講師プロフィール ◆1970年東京都江戸川区生まれ。37才でアイザックス症候群と病名が告げられる。2013年約20年間勤務した製薬会社を退職。希少難病ネットつながる (RDneT アールディネット) を設立。難病当事者として、皆が生きやすい社会を創るため日々活動している。

◆平成27年に指定難病が306疾患に増えてきましたが、まだ指定されていない希少難病も数多くあります。誰でも身近な人が難病にかかる可能性はゼロではありません。かわごえの母親も難病の小脳脊髄変成症でしたが、電車に乗った隣の人が難病患者で立っているのも辛い思いをしているかも知れません。今回は難病について理解し、ともに支え合う社会をつくるため学習会を開催します。ふるってご参加下さい。

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。かわごえ誠一 web 準備中→<http://www.kawagoeseiichi.com>

問合せ 連絡先

葛飾区議会民進党議員団
〒124-0012 葛飾区立石 5-13-1 葛飾区議会内
電話 03-3695-1111 (代) FAX 03-3697-0137
かわごえ誠一ブログ <ぱぱちゃりライダー> <http://seykawagoe.exblog.jp>

自宅 〒124-0012 葛飾区立石 8-47-18
携帯電話 090-2932-7315
e-mail s_k_switch@yahoo.co.jp

かわごえ誠一 平成28年 区議会アーカイブス

第二回定例会一般質問 平成28年6月

葛飾区、児童相談所の移管に向け前進！

児童福祉法改正により児童相談所の23区への移管が可能になりました。深刻化する児童虐待へきめ細やかな対応をするため都から葛飾区への児童相談所の移管を求めました。そこで青木区長から「今回の法改正を契機として、積極的に児童相談所の移管に係る検討・準備を進めていく」と移管に向けて踏み出す姿勢が示されました。

保育園待機児童対策・小規模保育の充実を

保育園の待機児童対策として0～2歳児を受け入れる小規模保育が広がってきましたが、そこを卒業した後の受け入れ先の確保が課題です。保育内容や施設面でも近隣の保育園や幼稚園などと連携を図ることを求めました。子育て支援部長から「現在は3歳児では待機児童が発生していないが、今後も利用する保護者の要望などを聞き、受け入れ先を適切に確保できるよう調整する」「保護者が小規模保育事業所を安心して利用できるよう、連携施設の設定を保育所や認定こども園、幼稚園と協議を行いながら進める」とされました。

葛飾区の文化振興の方針策定に向けて

文化芸術政策は芸術分野だけでなく、まちづくり、観光、教育など多岐にわたりますが、現在一貫した振興計画がありません。そこで総合的な文化振興の方針等を策定することや周知を進めることを求めました。それに対し区長から「文化事業について体系的に整理・集約し、文化施策を一貫した方針のもとに取り組めるようを検討する」との回答がありました。また地域振興部長から「区所蔵の芸術作品の図録の作成や、電子マップの活用も含めた美術品マップ等の作成も検討する」「区内で活動しているアーティストや団体の、情報収集を進め、積極的にPRに取り組む」との方針が述べられました。

区民との協働のため市民活動等の支援を

区民との協働を進める上で市民活動団体の支援の重要性が増しています。また協働を進める上で行政、自治町会、企業などとのマッチングや情報発信などが大切になります。それらを進める姿勢を問いました。これに対し地域振興部長から「活動団体間のマッチングなどのコーディネイト機能を区が積極的に果たす」、政策経営部長から「(仮)協働ホームページの構築を進める」と回答がされました。

地球温暖化対策の実現に向けて

地球温暖化対策を進めるため、低炭素社会・水素社会の実現に向け積極的な取り組みを求めました。これに対し環境部長から「家庭用燃料電池に加え、新たに集合住宅用燃料電池、燃料電池自動車の導入費用の助成を進める」「区が燃料電池自動車を購入し、水素を活用した地球温暖化対策を進める」と回答がありました。次に今後立石駅周辺再開発など大規模なまちづくりで、環境に配慮したスマートシティを導入するなど、区が環境対策を主導する必要性を問い、立石街づくり担当部長から「立石駅周辺地区の街づくりは、今後実施する施設の設計において環境負荷の低減を図り、低炭素社会の実現に寄与する環境配慮型街づくりをめざす」との姿勢が示されました。

第四回定例会一般質問 平成28年11月

立石のまちの歴史・文化の記録・継承を

連立高架化により立石の既存の町並みが失われる前に、貴重な昭和史として立石の歴史を記録にとどめ、立石駅舎の模型を作成するなど、後世に引きつぐことを求めました。教育次長から「立石の『古い地図や航空写真による開発変遷の分析』『聞き取り調査』などの記録化を進め、立石を代表する建築物である立石駅や仲見世の店舗等の記録化をし、模型作成なども考慮した形での映像や図面などによる記録保存を行う」と立石の歴史文化の保存継承に努める姿勢が示されました。

葛飾区のワーク・ライフ・バランス社会の実現と男性支援に向けて

小池都知事がイクボス宣言をし、ワークライフバランス社会に向けて一歩踏み込みましたが、葛飾区でのワークライフバランス社会に向けての取り組みなどを問いました。「葛飾区職員仕事・子育て活いき計画」を策定し、仕事と子育て・介護の両立や区の男性職員の家庭生活への参画促進などを進める」と区長自から発信していく姿勢が示されました。また、男性の家庭・子育てへの参画や、孤立しがちな男性介護者への支援の必要性を示し、総務部長から「男性の家庭生活参画に関する情報誌を作成・発行する」との答弁が、また福祉部長から「男性介護者が情報交換をしながら支えあえるよう、高齢者総合相談センターが中心となって支援をする」との姿勢が示されました。今後さらに父親同士のピアサポートへの支援も進めていきたいと思えます。

21世紀型学力を育成する学校図書館の充実を

グローバル社会をたくましく生き抜く21世紀型スキルを身に付けるために、メディアセンターとしての学校図書館の重要性が増しています。そこで学校図書館の充実を求めました。そこで教育長から「●メディアセンターとしての学校図書館の活用方法を区内小中学校でモデル校を指定して研究する●学校での表記を図書室から学校図書館へ変更する●教育委員会の中に担当者を選任する●『図書館を使った調べる学習コンクール』へ学校図書館と区立図書館の連携をし参加する」など回答され、具体的な取り組みが進むことになりました。

兄弟・姉妹に障害者をお持ちの方への支援について

兄弟・姉妹に障害者をお持ちの方の中には親とは違った課題や様々な悩みを抱えている方もいるといわれます。しかし現在、その「兄弟・姉妹」への相談窓口などの支援がありません。その支援を進める必要性を問い、福祉部長から「障害者団体も参加する葛飾区障害者施策推進計画(案)策定委員会などにおいて改めて意見や要望を伺い、必要な施策については検討していく」とまず、調査から始めることになりました。



第4回定例会で一般質問に登壇したかわごえ誠一

第三回定例会 決算審査特別委員会報告 平成28年10月

◆決算審査特別委員会において、決算各項目において要望をしました。そこから何点か報告をします。社会福祉費の生活困窮者自立支援事業での学習支援事業を現在の中学校12校からの拡充を求め、来年度から全24校で実施されることになりました。児童福祉費では、潜在保育士の掘起こしのためマッチングや再就職セミナー等の実施が検討されます。母子保健指導事業での夫婦で参加できる「パパママ学級」は参加者が増えており実施

数の増加を求めました。公衆衛生費の難病対策事業は区と医療機関との連携が進められます。環境費において区役所2階の屋上緑化見本園での周知イベントを検討することになりました。都市整備費の空家対策ではマッチングや相談窓口の設置が対策協議会での議論のもと進められます。街づくり費で無電柱化が細街路でも検討されることになりました。河川費では水元小合溜で異常繁殖したオニビシに対しての早期の対応を求めました。